

AIRHEADS通信

vol.

66

エクスペリエンスに重要なCapeって何者？ Aruba本社研修レポートその2

平素より「Airheads通信」をご愛読いただき誠にありがとうございます。

パートナー営業本部の山守です。

最近癒されていないと感じる今日この頃。

手頃な癒しを求めている矢先、知り合いからおススメされたのが

「チームラボ プラネッツ TOKYO」。

今年の7月にオープンした、新豊洲駅近くのデジタルアート空間です。

「ああ、電飾を駆使して非日常を演出している、“インスタ映え”するアート展でしょ？」

というのが正直な気持ちでした。

いろんな人がネットで上げている写真をみると、確かにキラキラな空間が広がり
異世界が体感できるような雰囲気。

でも、せっかくおススメされたので体験してみない手はない！ということで
早速休日に新豊洲へアート体験に出かけました。

まあ、結論から言うと

「写真、撮りすぎじゃね？」

と突っ込まれるぐらい

スマホでの撮影に没頭してしまうほど素敵な空間でした！！



会場内はぜひ体感いただきたいので、今回は入り口の写真をご紹介。

実際に場内では裸足で移動するなど体験型の工夫が随所に凝らされているためデジタルアートというジャンルであっても、お子さんでだって楽しめますし、年配の人であっても満足いただけるスポットだと思います！

なお、チームラボの回し者ではありませんのであしからず...

分野は違いますが、Arubaが現在コーポレートメッセージとして打ち出している“Experience First”に近いメッセージが込められている...と漠然と感じられる場面も。

**休日に出かけたアート展で会社のことを思い出してしまうなんて...
癒されてないのか...**

2020年の秋まで開催されているようなので、ぜひ皆さんも足を運んでみてはいかがでしょうか！！

エクスペリエンスに重要なCapeって何者？ Aruba本社研修レポートその2



前回に引き続き、大輔が訪れたAruba本社での研修内容を紹介。無線環境のさらなる可視化を実現するためのNetInsightには新たな機能が実装される予定となっており、今後もトラブルシュートやネットワーク設計の重要なソリューションとして進化を続けていくことが見てきた今回の研修。新たに買収したCape Networksについても今後注目いただければ。ただし、大輔が一番興奮したのはスタジアム見学だったようです。



大輔（だいすけ）

A市役所のIT推進室から転職して、現在は世界的なお菓子メーカーであるD&W社の情報子会社に転職。ネットワーク統括部のメンバーとしてグローバルなIT基盤の運用管理を担う。実際にはITの知識があまりなく、いつも周囲に頼ってばかりいる。

美咲（みさき）

大輔と同じくA市役所職員から転職した、もと大輔の部下。大輔が所属する情報子会社の親会社にあたる、グローバル本社のD&W社システム企画部に所属。社会人歴はわずか3年ほどだが、平成生まれのデジタルネイティブ世代として、ITの知識は豊富。

ディーン

D&W社のシステム部門に在籍する留学生・インドネシア人。ネットワークやセキュリティのスペシャリストながら、日本の文化に傾倒、大輔や美咲よりも日本のカルチャーに詳しい。



前回からAruba本社での研修の話題について教えてもらっていますが、今回はセキュリティやSD-WANの話もありましたし、パートナーシップで実現するスマートデジタルワークプレイスへの取り組みについてもお聞きしましたね。



Aruba本社



研修の一コマ



さすが米国本社だけあって、新しい話題が盛りだくさんだね。そういえば、今回はArubaの無線が導入されているリーバイススタジアムに行ったよ。



デジタル化がかなり進んでいるスタジアムとして有名ですよ。スマホアプリでチケットが購入できたり、自分の席からスマホにて軽食を注文して届けてくれたり。トイレの待ち時間とかも分かるみたい。



そそ。そのスマホへのWi-Fiを提供しているのがArubaってわけ。



楽しそうですね、スタジアム内を見学したんですか？



しっかり現場を見せてもらったよ！芝生の上も立ったからね。スタジアム内をArubaの人が案内してくれてさ。Arubaの部屋まであるんだもの。いや、あの上からアメフトの試合みたら、楽しいだろうなーって。





無線はどうだったんです？



電波の飛びをうまくコントロールするのに苦労したって言ってたな。
フィールド内に電波を届かせないように、APの角度を5度単位で調整して制御しているんだってさ。
シートの下にもAPが設置されているなど、いろんな工夫が施されていたよ。



スタジアムだけに、一般企業での利用環境とはだいぶ違うんでしょうね。



屋外だから雨の日と違って電波の飛びが悪くなると思って聞いてみたら、「サンタクララはほとんど雨が降らない」んだってさ。
サンフランシスコ自体、山のほうから雪解け水を市内に引っ張ってきているみたいで、雨の影響はほとんどないんだって。



そんな気候なんですね。現地に行かないとわからないこともありますね。
で、前回に続いて、今回はどのあたりのネタが面白かったんですか？



あとはそうだなー、1つはね、Aruba NetInsightだね。



確かユーザーの利用環境を把握しつつ、AIを活用して分析したうえで最適な設定で運用できるようになるっていう、あれですよ。



そうそう、なかでも「Impact Analysis」っていう機能が面白かったな。



どの辺が面白いんです？



例えばファームウェアのアップグレードがある場合、変更前と変更後の無線環境の違いなどが比較できるようになったりするみたい。
無線の環境ってビフォーアフターが分かりにくいケースがあるけど、それが事前に把握できるようになるんだよ。



インテグレータであれば、事前調査がスムーズにできるのはいいですね。
ファームウェアを上げるかどうかの判断が定量的に分かるんですね。



新しく搭載する予定の「Outdoor Planning」なんていう機能も面白いね。
分散したキャンパス全体で、建物内に設置されたAPと屋外に設置されたAPの配置から、実際の無線の密度が見えてくるので、どのくらいのAPを設置すればいいのか分かるという機能らしい。



うちのように工場がある場合、屋外も含めた無線の最適化は必要ですね。



実際のデモでは大学の事例が紹介されていまシタね。
国土の広いアメリカならではの印象デスが、美咲サンの言うとおりの、工場全域に導入する際にはとってもわかりやすい指標にナルかと。



ディーンは新しいものに敏感ね。



他にも、Green APっていう機能も紹介されていまシタ。



なんだっけ？省エネ的な機能だっけ？？



これも実装予定の機能ダッタと思われマスが、使用状態によってAPを省エネモードにする機能デス。



AP単体ならそんな機能もありそうだけど。



この機能は、例えば展示会の会場では、開始前は入り口付近でアクセスが集中し、基調講演が始まれば基調講演会場に、お昼は食堂にといった形で、時間を経てアクセスが集中するエリアが変わってくるものデス。



そんな話も出ていたな。



クライアントの出入りも監視していて、自動的にAP電源の入り切りも可能になるようデス。NetInsightでいえば、特定の時間に省エネモードにするような静的なコントロールではなく、クライアントの接続状況を見ながら自動的に判断するという代物デス。



利用者に迷惑をかけることなく省エネが実現するわけね。
なかなか素敵な機能じゃないですか！



すごいでしょ、さすがだね。



まあ大輔さんがすごいわけじゃないんですけどね。



それはおっしゃる通り。美咲くん、冷静だね。



まあ大輔さんの実力は把握していますからね。



他にもあるよ、面白いネタが。



どんなソリューションです？



えっと、カペ...じゃなくて、カポ？だったっけ...



それって Cape Networksのことを言ってマス？



そう、そんな名前のやつ。あまり聞いたことのないアプローチだったな。



それって今年の春先に買収した南アフリカのスタートアップの企業ですよ。



美咲サン、よくご存じデ。このCapeは、ようはユーザエクスペリエンスの視点から環境をサーベイしていくわけデス。



具体的にはどんな動きをするんです？



まさにユーザーが行う動作そのものを再現します。
現場に設置されたCapeのデバイスは、SSIDを見てアクセスを開始し、DHCPにてIPアドレスを取得し、DNSにて名前解決を行い、Captive Portalを経由してログオンしてネットワークに入りマス。



まさにユーザーの動きそのものね。



そして、Office365にアクセスしてメールを見たり、BOXにアクセスして実際のファイルをダウンロードしたりなど、まさにユーザーの動きを再現してレスポンスなどエクスペリエンスを見ていくのデス。



じゃあ、ユーザーが1台増えるという印象かな？



まさにそうデス。このCapeが持っているソリューションは、無線だけでなく有線端末のエクスペリエンスも見ることができるので、これまでは上位から状態を見ていたモノが、現場の動きをもとにネットワーク環境を把握することができるようデス。



有線も？日常の品質管理にも使えそうだし、障害切り分けの際にもCapeのデバイスが現場にあれば、実際の動きからどこが課題なのかがはっきりわかるわけね。



無線と有線が同時にキャプチャできるわけではないデスガ、最大5台のAPの動きをみることができるようになるようデス。エッジ側からのテストには最適なソリューションだといえマス。



正直、今までそんなソリューションって聞いたことないな。



NetInsightによってインターネット含めたネットワーク環境の可視化はできマスガ、現場からの視点で環境を見るのは難しい。だからこそ、Capeというソリューションが重要になってくるのデス。



無線というかネットワーク品質全体を最適なものにしようというArubaの意気込みが伝わってくる感じね。



僕だって現場の品質を最適なものにしたいといつも思っているんだけどな。



え？どのあたりが？



本当はそんなにおしゃべりじゃないのに、現場を盛り立てていこうといつも無理しているんだよね。まあムードメーカーとしての重責がそうさせるのか。



そんな崇高な思いで雑談しているとは思ってもみませんでした...



美咲くん、もっと見る目を養った方がいいよ。



大輔さんからそんなことを言われる日が来るとは...



美咲さん、大輔さんのいうコトを真に受けると、大変デスよ。
職場でお菓子をほおぼってYoutubeばかり見ているだけの人なんデスから。



ディーンも分かってないな、僕の真意が。



ボ、墓穴を掘らないように祈りマス...

===== 【おしらせ】 =====

Airheadsアカデミーシーズン2の動画を公開しました！

下記URLよりご覧いただけます。

<https://www.it-ex.com/distribution/securitynetworksolution/arubabiz/airheads-japan/>

=====

バックナンバー

- ▼ 見えるから解決！無線LANトラブル1 うまくつながらない (vol.1~2)
- ▼ 見えるから解決！無線LANトラブル2 遅くなったように感じる！ (vol.3~6)
- ▼ 予知できるから安心！無線LANトラブルの回避トリガー設定編 (vol.7~10)
- ▼ コントローラ内蔵APが現場を救う！無線LAN導入のススメ (vol.11~21)
- ▼ 認証ソリューション「ClearPass」による安全対策のイロハ (vol.22~25)
- ▼ Office 365/Skype for Businessによるワークスタイル変革に最適な無線LANの勘所 (vol.26~28)
- ▼ パブリックに出せないインフラに俊敏性と拡張性を実現、フレキシブルキャパシティ (vol.29~31)
- ▼ それ選んじゃダメなの！？後悔しない“クラウドWi-Fi”選びの視点 (vol.32~34)
- ▼ WannaCryの対策がワカラナイ... HPE Aruba的ランサムウェア対策のススメ (vol.35)
- ▼ 失敗事例に学ぶクラウドWi-Fiの落とし穴 大輔が見た真実 (vol.36~37)
- ▼ 大輔的シリコンバレー見聞録 (vol.38~40)
- ▼ もう取り寄せた？無料入手「HPE Networking製品カタログ」がすごい件 (vol.41)
- ▼ “犯人は無線”冤罪を証明するClarityって何？ (vol.42~43)
- ▼ 大輔が行く！マカオ「APAC Atmosphere 2017」ルポ (vol.44~46)
- ▼ 慶應義塾大学が5種類のAPを使い分けるわけ...事例探訪 (vol.47)
- ▼ IoT時代のネットワークづくりに貢献「ArubaOS 8」って何がスゴイの？ (vol.48)
- ▼ 今年の学びを総決算！リーナ通信2017年振り返り (vol.49)
- ▼ 大輔的シリコンバレールポ (vol.50~54)
- ▼ “SDNその先へ” (vol.55~58)
- ▼ クラウドWi-Fi事例探訪 (vol.59~60)
- ▼ 再考すべきLANスイッチ選択 (vol.61~62)
- ▼ 「Airheadsアカデミー」体験記 (vol.63~64)
- ▼ Aruba本社研修レポート (vol.65~)

バックナンバーは、下記サイトにて公開しております。

<https://www.hpe.com/jp/ja/networking/mailmagazine.html>

※最新版が掲載されていない場合もありますが、随時掲載して参りますので後日ご確認ください。